



スージーの真心 10時～

緑豊かな田園を背景に純真な乙女と夢多き青年の恋を描いた青春ラブロマンス。アメリカ映画の父と呼ばれる名匠D.W.グリフィス監督が名作「散り行く花」の後に作った作品で、「幸福の谷」「大疑問」とともにグリフィスの田園三部作として知られる人情劇。共演者はいずれもグリフィス組の常連で、ロバート・ハロン、クラリン・シーモア、キャロル・デンプスターら、当時の若手スターが勢ぞろいしている。撮影はグリフィス映画に欠かせない伝説の名カメラマン、ビリー・ビツァー。

港々に女あり 14時～

男二人組・・・
 本国アメリカのみならずヨーロッパでもヒットし、ホークス監督の出世作となった。ヴィクター・マクラグレンとロバート・アームストロングの男二人組の珍道中という設定は、その後のアメリカ映画の定番となった。なまめかしい肢体で二人を翻弄する妖艶な悪女ルイズ・ブルックスは、まさに永遠のファム・ファタル。



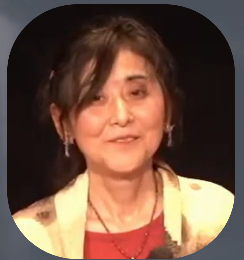
柳下 美恵(やなした みえ)さん 活動倶楽部世話人

サイレント映画ピアニストとして国内、海外で活躍。1995年、山形国際ドキュメンタリー映画祭の映画誕生100年記念上映会でデビュー。2011年に杉田協士監督『ひとつの歌』の音楽を手がけ、2012年に篠崎誠監督『あれから』の音楽を手がける。2005年、カール・テオドア・ドライヤー監督『裁かるゝジャンヌ』DVD(紀伊國屋書店クリティカルエディションシリーズ)のピアノ伴奏を担当。その後、イギリス、アメリカ、デンマークのDVD、BDに音楽が採用された。



宮下 啓子(みやした けいこ)さん 活動倶楽部代表

無声映画を起点とする“変体”映画愛好家。大学時代に会ったリリアン・ギッシュに導かれて遅まきながら映画に開眼。見る・集める・知るの修業時代を経て1998年仲間と一緒に戦前映画の自主上映会「活動倶楽部」を立ち上げ、今年で26周年。趣味が嵩じて映画研究にも手を染め、2022年11月共著で「片山明彦資料集」全2巻を完成。アートアニメ、「事件記者」の大ファンでもあり、クラシック映画の面白さを伝える語り部として活動中。



ゆめホールシネマ倶楽部Vol. 32

4/23(火)～27(土)

ずっとふたりで生きてきた・・・



	23	24	25	26	27
9時	●	●	●	●	●
12時	●	●	●	●	●
15時	●	●	●	●	●
18時	—	—	—	●	●

入場料
 一般：1,000円
 障がい者：500円
 学生以下：200円
 無連絡：+500円

